

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	住吉区
学 校 名	大空小学校
学校長名	今中 綾子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・本校では、第6学年 59 名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全国を「1」とする国語の平均正答率は、昨年度は「0.93」であったが、今年度は「1.00」と全国と並ぶ結果となり、昨年度に続いて向上した。内容に関する分布としては全国・並びに大阪市の分布に近かったが、「書くこと」だけは弱い領域であった。

また、全国を「1」とする算数の平均正答率は、昨年度は「0.95」であったが、今年度は「1.06」と全国を上回り、こちらも昨年度に続いて向上した。内容に関する分布としては全国の分布に近かったが、「図形」領域は強い領域であった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

・「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう、これまで授業の中で話し合い活動や学びあいを多く取り入れることを意識してきたことが、特に「話す聞く」領域の正答率の向上につながったと考えられる。

・半面、「書く」領域については課題が見られた。文章を読み取って質問条件に応じて内容をまとめる力が弱かったため、今後は自由な感想を書くだけでなく、文章を読んでまとめたり、そこから考察を行ったりする総合的読解力育成に向けた取り組みが必要であることが明らかになった。

〔算数〕

・昨年度に引き続き「学力向上支援チーム事業」を活用し、算数を中心に学びコラボレーターや学びサポーターによる支援や、希望者による放課後学習などに取り組んでいる。算数では全領域で平均正答率が大阪市を上回っており、その成果が出てきていると考えられる。

・その中で、選択肢を選んだ理由を説明する問題については正答率が低かったため、やはり算数でも考え方をまとめて文章で表現する力を身につけることが必要であることが明らかになった。

質問紙調査より

・本校では学校生活の中で、「人を大切にする力」「自分の考えを持つ力」「表現する力」「チャレンジする力」の「育てたい4つの力」を大切にしたい取り組みを進めている。特に6年生はリーダーとしての役割を果たす中で、学校生活全般について意欲的・積極的に取り組む姿勢が見られるようになってきている。そうした日頃の様子は「先生はあなたのよいところを褒めてくれている」「将来の夢や目標を持っている」「友達関係に満足している」の質問項目において、大阪市・全国より数値が高いことに反映されていると考える。

・加えて、「5年生までの授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目が大阪市・全国より数値が高いことはこれまでの指導の成果であり、正答率の向上に寄与していると考えられる。

今後の取組(アクションプラン)

今後も引き続き「4つの力」を高めることをめざし、児童の意欲を引き出せるような学習活動を全教職員で工夫して展開していく。

具体的には「学力向上支援チーム事業」や「ブロック化による学校支援事業」を活用し、学びコラボレーターなどによる児童へのきめ細やかな支援を継続する。加えて若手教員を中心とした授業研究に、学力向上アドバイザーを迎えて指導助言をいただくことも継続し、「主体的・対話的で深い学び」をめざした、指導力向上に努める。さらに全校的に2年計画で、「授業におけるICTの活用」について研究を行い、魅力ある授業づくりを推進する。

また、弱さの見られる「内容をとらえてまとめる力」「考えを説明する力」に関しては、本市のめざす「総合的読解力の育成」に向けて、指導のあり方やカリキュラムの見直しなど、今後の方向性を検討していく。

学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

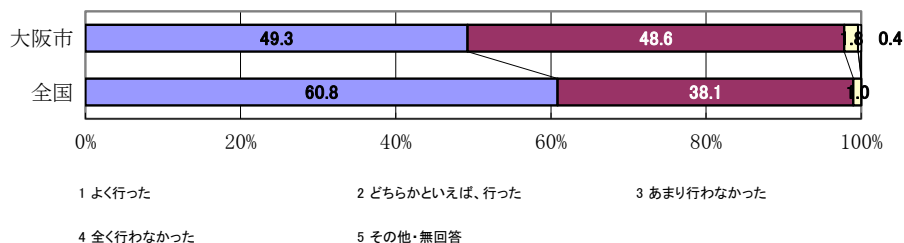
質問番号

質問事項

13

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行った

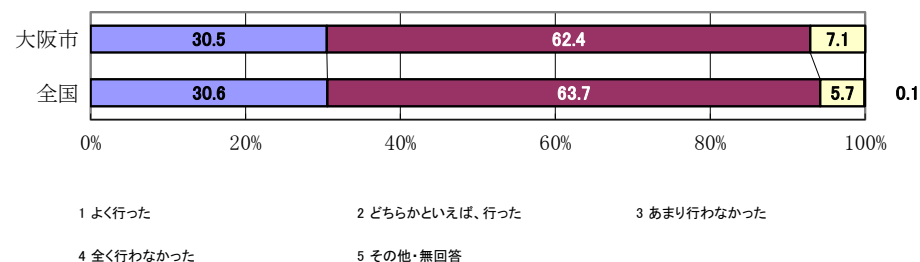
学校「よく行った」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している

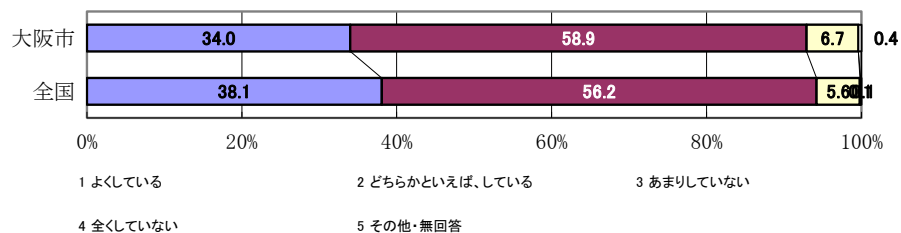
学校「よく行った」を選択



38

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っている

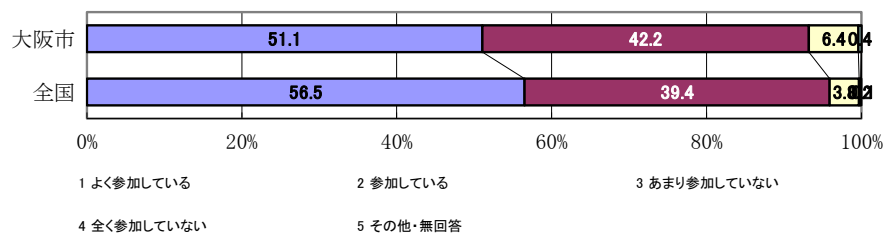
学校「よくしている」を選択



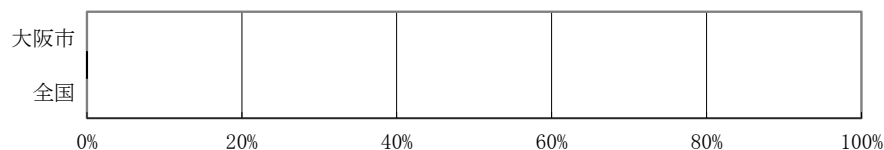
72

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか

学校「よく参加している」を選択



学校「」を選択

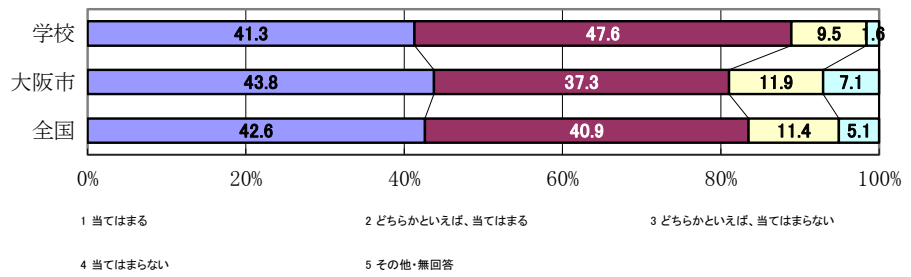


児童質問紙より

質問番号
質問事項

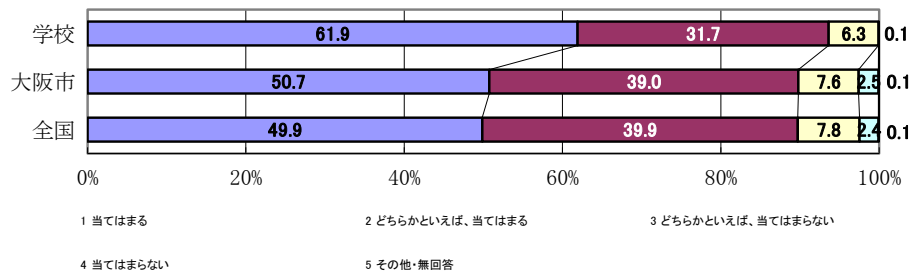
4

自分には、よいところがあると思う



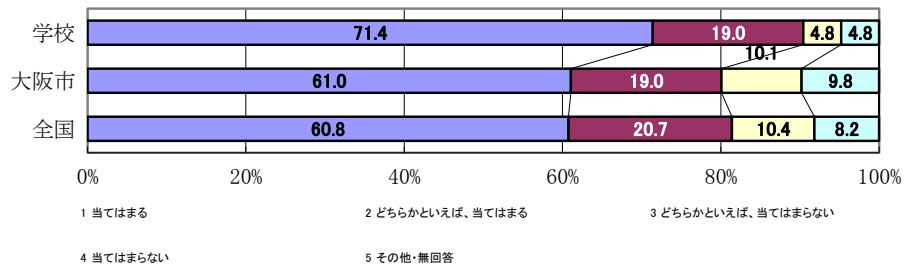
5

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



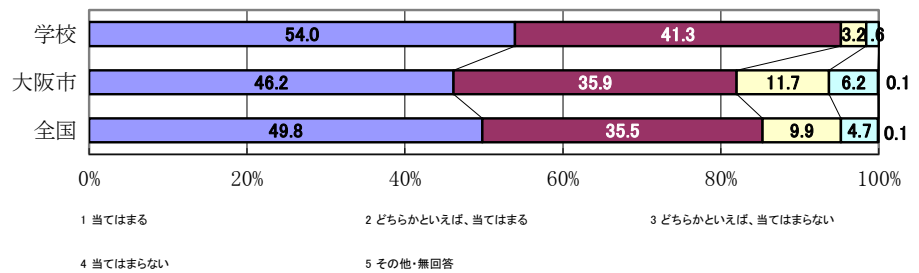
7

将来の夢や目標を持っている



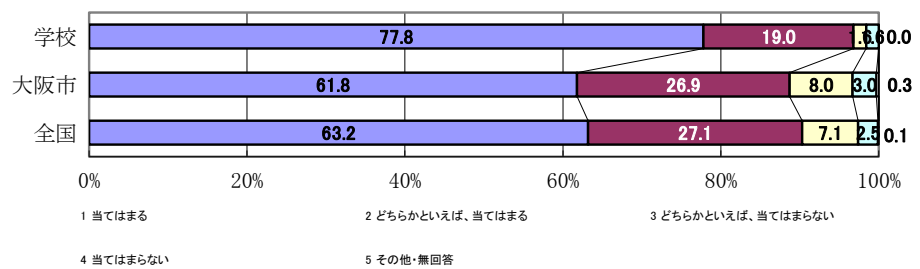
12

学校に行くのは楽しいと思う



14

友達関係に満足している



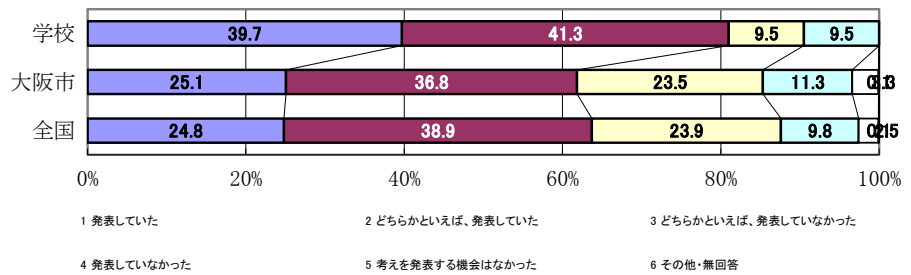
児童質問紙より

質問番号

質問事項

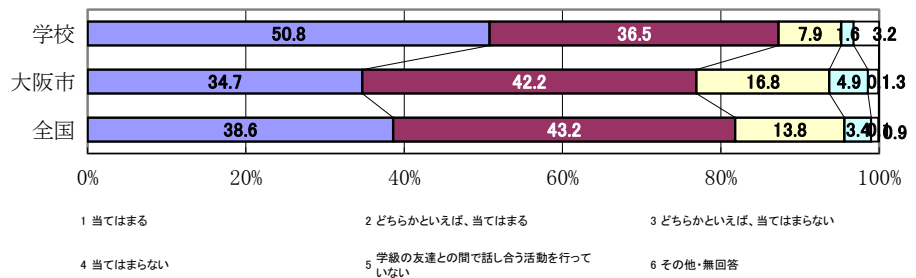
32

(5年生までに受けた)授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



36

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



42

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる

